

授 業 科目名	【Gカリキュラム】 研究会 I・II ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 研究会 I・II	選択履修	開講年次	【G】3 【EF】3	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	民法（財産法）および環境法演習		担当者	手塚 一郎		
授業概要	<p>【概要】</p> <p>主に発表と議論を通じて、民法に関連する諸制度が実際の紛争（トラブル）の解決にどのように用いられているかを学んだり、環境法・政策に関する知識を身に付けていきます。サブタイトルにあるとおり「演習」ですから、履修者にも報告（発表）をしてもらいます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>民法・環境法などを題材とした学習を通じて、大学卒業後にも活用できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけることが到達目標です。4年生には「卒業論文（またはそれに準ずるもの）」を作成してもらいます。</p>					
履修条件	<p>① 3・4年次の2年間継続履修する意思がある新3年生であること。または、3年次からの継続履修を許可された新4年生であること。</p> <p>② 原則として、担当者が指定する講義科目（「不法行為法」等）を併せて履修すること。</p>					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>演習科目という性質上、指定教科書はありません。必要に応じて資料を配布します。</p> <p>【参考書】</p> <p>道垣内弘人『プレップ法学を学ぶ前に（2版）』（弘文堂、ISBN978-4-335-31326-4）</p> <p>※この参考書は新年度開始前に購入し、繰り返し読んでおいてください。</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	<p>授業の基本的な構成は「発表⇒全員での議論」です。詳しくは以下の内容を確認してください。</p> <p>【基本事項の確認】</p> <p>新年度（前期）開始直後は、基本的な民法の参考書の輪読などを通じて学習に必要な基本事項の確認を行います。また、必要に応じて教員が解説を行います。</p> <p>【報告と議論】</p> <p>担当を決め、判例などを題材として様々な情報を調べて報告（発表）してもらいます。発表後、他の履修者も一緒に報告内容に関する質疑応答と議論を行います。前期末・後期末には各自の発表内容に関するレポートを作成してもらいます。</p> <p>【具体的なテーマ】</p> <p>民法（特に不法行為法）や環境法に関するテーマを中心に扱います。</p>					
予習 復習 内容	<p>【予習の具体例】</p> <p>事前配付資料の通読、語句確認、発表資料（レジュメ）の作成</p> <p>【復習の具体例】</p> <p>資料の再読や不明点の再検討、発表資料（レジュメ）の改訂、質疑応答で回答できなかった部分の再検討と報告</p>					
評価方法	<p>以下の各項目を担当者が点数化します。評価割合は①30%、②40%、③30%です。</p> <p>① 報告担当時の出来栄（資料、報告の仕方、質問対応）</p> <p>② 他者報告時の参加度合い（質問・意見等の提示、ディスカッションへの参加）</p> <p>③ 提出物の出来栄（授業内での演習シート、各学期末のレポートや4年次の卒業論文等）</p>					
評価基準	<p>演習（ゼミ）科目ですから講義科目と比べて抽象的な基準ですが、①他者に対して正確な情報伝達ができるようになればC評価、②正確な情報伝達とともに、自分の意見を積極的に発信できるようになればB評価、③それらの事柄をより一層分かりやすく行うとともに、他者の意見を正確に理解したうえで、相手と議論できる実力が身につけばA評価とし、①に到達していなければD評価またはE評価とします。</p>					
その他	<p>① 到達目標達成のため、年間数冊の書籍等を購入する必要があります。</p> <p>② パソコンでメールを送受信したりインターネットを通じて情報を検索する必要があります。</p> <p>③ 欠席5回以上で原則としてE評価（単位不認定）とします。また、演習への参加姿勢に問題があると担当者が判断した場合（例えば、無断欠席、度重なる遅刻・欠席、提出物の締切不遵守、授業時に発言をしない…等）、E評価を宣告し、以降の履修を認めない場合があります。</p> <p>※G 判：法【-】 判°【-】 情【-】 / EF 判：法【必修】 判°【必修】 経【必修】</p>					